

## 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1298900133		
法人名	社会福祉法人阿育会		
事業所名	グループホームあんじん		
所在地	千葉県香取市佐原イ1679-1		
自己評価作成日	令和5年2月10日	評価結果市町村受理日	令和5年4月6日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku./12/index.php">http://www.kaigokensaku./12/index.php</a>
----------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ライフサポート楽楽		
所在地	千葉県旭市口1004-7	TEL	0479-63-5036
訪問調査日	令和5年3月22日		

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「愛されていない命は一つもない・尊ばれない命は一つもない」この理念を運営やケアサービスを提供する上での拠り所としています。コロナ化の為、デイサービス、家族との面会、外部との交流が出来ない為、施設内での過ごし方やレクリエーション、談話の時間など工夫している。医療連携の充実を図り、入居者様のニーズに応えた生活支援を提供しています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「愛されていない命は一つもない・尊ばれない命は一つもない」この理念をスタッフ一同が共有し、長引くコロナ禍で色々制限がある中でも、6名の入所者のニーズに応えた生活支援に繋がっています。  
Wi-Fi等の活用や少人数でのお花見外出したり、家族との外出、食事と少しずつ戻りつつある日常を職員皆が工夫して支援を行っています。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	愛さされていない命は一つもない。尊ばれない命は一つもない。この理念を共有し、実践につなげている。	利用者6名のホームで敷地内には、デイケアセンターふだらくが有り、利用者の交流もある。新人合同研修や合同職員会議で理念の共有も図られ実践に繋げています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、事業所としては回覧板での情報の共有。スタッフは挨拶を心がけています。	施設の前には系列の内科病院があり、通学路にもなっていて朝夕は子どもたちの明るい声が聞こえ、買い物や散歩等で挨拶を交わされています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	新型コロナウイルスの感染拡大の為、面会を禁止している為、地域の方やご家族の方には実践できていません。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	新型コロナウイルス感染拡大の影響で今年も事業所内のみで職員同士での情報共有や、意見交換などで事業所の運営に活かしています。	運営推進会議に家族と一緒に利用者の方にも参加してもらい、施設の取り組み状況等についての報告や話し合いそこでの意見をサービス向上に活かしています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	管理者やケアマネが行政への報告、相談を通して連携をとっています。ご家族の希望で認定調査の立ち合いや、申請代行等、協力体制を築いています。	市町村の担当者と日頃から連絡を密にとり運営推進会議にも参加して頂き事業所の現況や取り組みを積極的に伝え協力関係を築けるよう取り組んでいます。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	本人の視点から行動を考えて、危険な行動の原因や不安、苦情など訴えて貰ったり、気付けるよう確認し、共有する。スピーチロックについてもその都度注意しあっています。	身体拘束や言葉の拘束は行っていない。日々の引き継ぎ時等でプチミーティングで話し、禁止の対象となる行為を正しく理解し、ケアに取り組んでいます。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	生活リズムを整えて、日中に意味のある充実した活動が出来るようにケアしていく。虐待が見過ごされることがないように注意を払う。		

[評価機関]

特定非営利活動法人ライフサポート楽楽

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	ミーティングなどの場で、職員が成年後見人制度について熟知するように努めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者やご家族にも十分な説明を行い、改定時には、双方の同意を大前提としています。対話を大切にし、内容の変更の際には個別に柔軟に対応しています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の声やご家族様のご意見があった場合には、速やかにミーティングで情報を共有、検討し、ご家族様や利用者様に対応するようにしていきます。	運営推進会議に家族と一緒に利用者の方にも参加してもらい、施設の取り組み状況等についての報告や話し合い、そこでの意見をサービス向上に活かしています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	勤務希望や休日希望は管理者が聞き、勤務体制に反映させています。	ミーティングや各施設の全体会議等でも職員の意見や提案を聞く機会を設け計画に反映させています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の就業状況や意向を把握して、改善に取り組んでいる。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	今年は新型コロナウイルスの影響により、外部研修は皆無で、事業所内でのミーティングにて、月に一度実施し、職員の質の向上に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	今年も新型コロナウイルスの為、同業者との交流は図れていません。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	リビングや食堂等、皆さんが居る所にお連れし、早く馴染んで頂き、安心して過ごして頂く。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様の要望、不安な事に耳を傾け、ご家族様に安心して頂けるよう努めていく。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族が希望されている支援を検討、他の対応に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	声掛けしながら、「できること」、「できなこと」を見極め、積極的にやって頂く。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会に来て頂いたときは、一緒にお茶の席などに同席して貰い、一緒に楽しんで頂いております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人が希望すれば、デイサービス等を利用して頂く。	デイサービスに来ているお友達に会う機会を設けたり、馴染みのお店に買い物に車で行ったり、関係が途切れないよう支援に努めています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様が孤立する事の無い様、スタッフが工夫する。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	これまでの関係性を大切にしながら、相談や支援に努めている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式を利用し、本人の言葉をひろい、思いを受け止めている。家族は本人や介護に対する思い、受けているサービスへの要望欄に記入してもらい、確認し、チームの中で共有できるように伝えている。	本人、家族に生活に対する希望や意見を聞き出来る限り対応できるものから実施しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式に記入して頂き、スタッフが共有しながら、本人との会話や家族に再度情報を伺いながら、利用者理解に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	業務日誌等を使い、日々の情報を確認して、その日の過ごし方や心身の状態をより良くできるように支援している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の生活の中で、最も必要な事を課題としてとりあげ、支援や協力の仕方をミーティングや日々の生活の中で話し合い、プランに組み入れている。	毎月会議で本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録、バイタルチェック、食事、排泄、睡眠、薬の情報を総合的に見直し、支援に繋がっているか、できているか等をスタッフ間で確認し、計画に反映させている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	“家に帰りたい”ニーズに適切に対応し、家族に協力の依頼をしている。又、食事に関しては本人の好むものが食べられるように用意し、心の満足度も満たせるようにすすめている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	新型コロナウイルス感染防止のために地域との交流はできない。利用者の家の近隣との関りはあり、交流はある。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医はもちろん、訪問歯科、整形外科等も利用者別に受診できている。治療に関しての情報も、その都度わかるようにして、本人や家族に伝えて、次の受診につなげている。	主治医系列の内科院で、本人も家族も納得されており、県立病院や他の医療機関とも連携を取っています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週火曜日に看護師が利用者のバイタルや体調を確認し、日々の様子をスタッフが伝えている。特に医療が必要な方の対応は看護師を通して医師の指示を受けている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	千葉県地域生活連携シートを利用し、情報の共有を交換している。入院中も連携室や入退院支援センターと連絡をとりあい、家族と共に安心して治療回復のための支援をした。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	医師とのやり取りにより、重度化や看取りに入ったことを受け、家族と共に本人の思いを中心に、今後のことを決めて進めていく。知人や地域の方に協力をお願いし、支援した。	職員は研修を行い、医療と連携を図り本人や家族の意向を伺い家族と共に本人に寄り添えるよう支援を行っています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	主治医と連絡を取れるようにしてあり、急変、事故発生時は対応できるように、事前にやり方を確認している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の火災、水害時の避難訓練を行った。水害に関しては近隣の避難場所まで実際に行っている。	避難訓練は消防の方、指導のもと実施されています。緊急時の対応として、警察、消防に即時に対応依頼が出来る様にしています。	夜間を想定した訓練実施、泊まりの職員が全員受けられる支援を期待します。

[評価機関]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人の書類等については、所定の場所に保管している。日常的にも入居者様のプライバシーに配慮し、相互の信頼関係を大切にしている。	個人の書類等も所定のカギのかかる場所に保管され、個人情報の保護を図り、入居者のプライバシーに配慮し、声かけなど気配りし、相互の信頼関係を図っています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個別に説明をし、分かりやすく話している。ご本人様の表情、行動から気持ちを受け止めることもある。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	今日は何をしたいかなどの希望を聞き、ご希望に添えるようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に美容師さんに来てもらい、ヘアカットなどをしてもらっている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様と同じテーブルを囲み、楽しい雰囲気づくりに努めている。食べたいものを伺い、盛り付けに工夫をしている。	長引くコロナ禍で、中々皆での外食等は出来ない中、楽しい雰囲気づくりや盛り付けを工夫したり季節のメニューや行事食など食事を楽しむことが出来るよう支援しています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	タンパク質を中心に多めに摂ってもらう。水分も多めに摂れるよう支援する。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人ひとりの口腔状態を把握して、口の中の状態を清潔に保つようしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄のパターン、習慣を活かして、自立に向けた支援を行っている。	一人ひとりの力や排泄パターンを把握しトイレでの排泄自立の支援を行っています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や、運動への働きかけ等、予防に取り組んでいる。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴を楽しめるように、個々に添った支援をしている。	入浴は毎日実施され、本人の希望に応じて回数や時間帯等柔軟に対応し、季節の入浴を行い楽しく入浴できるよう支援しています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	安心して休息したり、気持ち良く眠れるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの薬の服薬について理解する。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	喜びのある生活、日々を過ごせるよう、利用者一人ひとりの役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナウイルスの感染拡大のため、大勢の人混みを避けながら、近場の散歩などを心がけています。	一人ひとりのその日の希望に応じて、散歩や買い物で戸外に出かけられる様支援をし、車でのお花見や、外食等に出かけられる様支援しています。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族よりお小遣いを預かり、希望に応じて職員が買い物をしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族や親せきなどの電話を取り次ぎ、携帯電話を持っておられる方は、様子をみながら支援していく。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有の空間などは、利用者にとって不快や混乱を招かないように過ごせる工夫をしている。	人数が6名と少ないので、アットホームな雰囲気、色々な作業を一緒に行ったり、レクリエーションを行い体を動かすなど、工夫しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ご利用者様同士、思い思いに過ごせるよう居場所を工夫している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた物や、好みのものを活かし、居心地よく生活できるよう工夫をしている。	居室は、家から持ち込んだ使い慣れたタンスやテレビなどが置かれ、家族の写真など貼ってあり、本人が居心地良く過ごせるように工夫してあります。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	できるだけ自立した生活が送れるよう工夫している。		